

乳児さんのどろんこ遊び

令和4年6月28日(火)



今日は、とっても良い天気。水遊びには絶好の天気。
しかし、今日は、子どもたちも、先生達も、それなりの服装になっている。
もっと大胆な遊びが展開されている。



お庭を見渡すと、たねっこ組さんもいる。つぼみ組さんもいる。ふたば組さんもいる。
カラー帽子が、ちょこちょこ動き回っている。
人工芝のお庭の一部は、人工芝が外され土の庭。その横は砂場。
保育士達が泥だらけになって、無邪気に遊んでいる。
子どもたちも、負けずに、泥だらけ。



泥水をバチャバチャ跳ね飛ばしても、怒られない。先生もやっている。
穴を掘っても、怒れない。むしろ、凄いね！と褒められる。
庭の真ん中に、お山を造っても、ダメでしょ！と言われない。
そこが、遊び場になり、
トンネルが出来たり、泥の装飾品が飾られる。



砂場は、時には、湖になったりもする。もくもくと遊べる、自分だけの場所にもなっている。
型押し遊びに丁度良い土質になっている。

あまりの泥んこが苦手のお友達は、人工芝の方で、遊びます。
でも、泥んこが気になります。遊びたい気持ちになります。でも、踏み出す勇気が…。
でも、先生達が、泥んこ魔法をかけてくれます。

たねっこ組のお友達は、お部屋の前のゴムチップに、たらい等を置いて、水遊び。
自分なりの遊びを楽しんでいますが、目は、耳は、つぼみ組やふたば組さんの
楽し気な遊びを見ています。感じています。

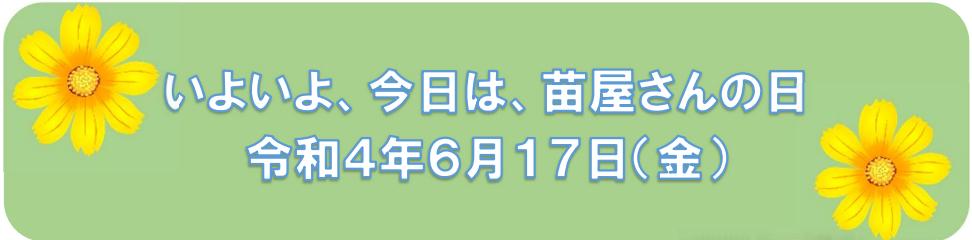


同じ環境の場で遊べることは、いろいろな学びに繋がっていることでしょう。

泥染めになってしまった、下着やお洋服に、ママたちはびっくりしたかな？
真っ黒になんて、注意されるのではなく、一緒に共有してくれる先生と仲間。
いろいろな感触を楽しみ、発見したこともあるでしょう。
もちろん、内心、泥んこやだ！の子もいたことでしょう。
でもこの体験が、いろいろな
生きる力に繋がっていくんだね。



泥んこ遊びは 学びの あ・そ・び



皆が、買いに来る前に、お店の準備です。用意した苗を運びます。
2人一組になって、よいしょ！よいしょ！
水をたっぷり含んでいるので、とっても重いのです。



いらっしゃい！ いらっしゃい！
どれが、いいですか！
おすすめは、これかな！
これは、コキアです。
これは、黄コスモス。赤しそもあるよ。

みのり組さんが作ってくれたチケットを持って、順番にたねっこ組さん、つぼみ組さん、ふたば組さん、みつば組さん、よつば組さん、柿の実の男の先生も来てくれました。くりの実保育園のお友達も来てくれました。

元気がいい、声が響き渡っています。お隣のお友達にまけずに、自分の言葉で、売り込みをしています。
小さい子には、「これがいい？それともこれ？これがいいんじゃない？」と選んであげています。

袋にいれてあげています。終始子ども達の声が飛び交い、その声を聞くだけでも、楽しさが伝わってきます。
男の先生や先生たちへの売り込みの言葉や会話を聞いていると、大人顔負けの楽しいコメントを発しています。

昨年は、買い手だったみんな。昨年のみのり組のお兄さん、お姉さんの姿から、いろいろの学びがあったのでしょう。だからこそ、活気にあふれているのでしょう。



そもそも保育園の園長先生からお手紙が届きました。

苗屋さんごっこ、頑張ってね。
遠いところに保育園があるので、今日は、買いに行けません。
コキアを2つ、とっておいて下さい。

みんなが、それぞれ、一つずつ苗を選んで
お取り置きしてくれました。取りにくるまでの、
苗の保管のことをいろいろ考えてくれました。
お礼のお手紙を作ってくれる子もいました。

さてさて、苗が少し余ってしまいました。みのり組さんの午睡中です。担任の先生と事務所の先生が何やら、ひそひそ話。「はじめの一歩保育園のみのり組が育てた苗です。たくさん苗ができたので、一緒に育てて下さる方はお持ち帰り下さい。」と貼り紙を用意し、柿の実幼稚園の門の所に苗を並べてくれました。柿の実幼稚園の親子さんや、通りがかりの方が、貼り紙を見て、「育ててみよう！」と持って帰ってくれています。夕方、その話を聞いたみのり組さんは、門の所に見に行きました。実際、自分の目の前で、苗を手にしてくれている姿をみたり、たくさんあった苗が少なくなっているのを見て、とっても嬉しがっていました。18時に片づけに行くと何も苗が残っていません。月曜日に伝えたい！早く伝えたい！完売だったよ！と…。達成感と共に、何かまた挑戦する何かを見つけることでしょう。

